令和４年１１月１０日発行

令和４年 １１月号 うつくしネットワーク

株式会社うつくし倶楽部
http://utsukushi.outer-network.com

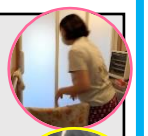
今月の２３日は「勤労感謝の日」です。作物の収穫の恵みに感謝し、周りの人達と日々の頑張りを互いに感謝する日です。自分の生活が成り立っているのも、どこかで働いている沢山の人たちのおかげだと、改めて思います。

高齢者デイサービス

12月の行事「感謝祭」

今年１年間の感謝をこめて、毎年恒例の年末感謝祭をおこないます。ご利用者様だけの開催となりますが、楽しい憩いの時間をお過ごしください。

新しいチーム作り



今年5月。2名の新入職員（介護福祉士）が入職しました。入職から半年が経過しました。新たな職員を含め、今後も職員一丸となって精一杯頑張って参ります。ご指導の程、宜しくお願いします。

11/3.4.5「富士宮まつり」

うつくしくらぶの前も賑やかです。

3年ぶりに開催された「富士宮まつり」。活気あふれる祭りの空気を楽しみました。

放課後等デイサービス

放課後等デイサービスうつくしくらぶ 児童置き去り防止マニュアル

今年9月に発生した、園内バスの園児置き去りという痛ましい事故を教訓にし、うつくしくらぶでも、これまでに何度となく送迎に関する安全性をふり返ってきました。

この度、再度、具体的な対策をたて、事故防止に努めたマニュアルを作成しました。

職員全員が安全管理を強く意識し、事故発生防止に備えてまいります。

子どもが達成しやすい指示の出し方

ペアレントトレーニングでは、「効果的な指示の出し方」を学びます。子どもがスムーズに動けるようにするためのポイントは、CCQです。

【Calm（カーム）穏やかに、Close（クロース）近くで、Quiet（クワイエット）静かに】の略で、

親、支援者が穏やかに、子どもに近づいて、静かな声で指示を出すことが大事です。注意や説教にならないように伝え方を意識したテクニックです。

2階12月の予定（予定は変更になる可能性があります）

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
リズム体操・アスレチックトレーニング・就労支援プログラムは毎日実施中。					9	10
					16	17
					※１	
18	19	20	21	22	23	24
※１清掃週間				※２うつくしシアター		
25	26	27	28	29	30	31
※２				休業日12/29～1/4まで		

※1清掃週間（12/17～12/24）
※2うつくしシアター（12/21～12/28何を観るかはお楽しみ★）　冬休みは、※1・2合わせて実施予定。
12月もコミュニケーション講座開催予定です。（11/15～「社会のルール」について実施しました）
●12/29～1/4　年末年始の休業日

ペアレントトレーニングは、応用行動分析の理論に基づいてすすめていきます。ご興味を持たれた方は、ご相談ください。

１０月をふり返って

高齢者デイサービス

ある日の昼食

どの作品も季節感たっぷりの仕上がりです。

10月・1階の皆様の作品

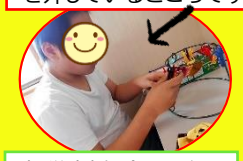
放課後等デイサービス

10月生まれのお友達

まちなかをお散歩

壁面制作の様子

生活訓練の様子。生活に活かす訓練として、洗濯バサミに挟まれた靴下を外しているところです。

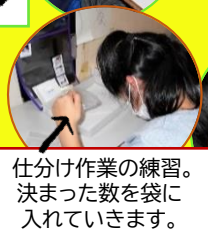


清掃週間では、掃除方法の確認をしながら、それぞれの役割（掃く・拭く）でお掃除をしていきます。

視覚支援。今日は何をする？次の予定は？どのくらい、やることが残ってる？自分で確認しながら、行動を組み立てていきます。

割り箸の袋入れ

電話対応の練習



仕分け作業の練習。決まった数を袋に入れていきます。

ホックを留める練習

編集後記

「インクルーシブ教育」という言葉があります。今、教育現場では、障がいの有無に関わらず、皆が共に学ぶ仕組み作りに取り組み出したそうです。簡単にいうと、「障がいのある子とない子が、できるだけ同じ空間で学ぶためには環境整備と配慮が必要なため、教員や支援者はそれを意識し必要な知識を備えましょう」という感じです。

話は変わりますが、現在、私生活で、普通級において支援が必要な数人のお子さんの相談を受けています。「学習困難」「人間関係」「気持ちが敏感過ぎて疲れ果てる・・」など特性は様々ですが、どれも本人にとって酷な環境で、どのお母さんも心をすり減らしています。「私たちは、お宅のお子さんひとりだけを相手にしている訳ではないもので・・。」これは過去、我が家の息子のことで私自身が先生から直接、言われた言葉です。その時は確かにごもっともだとも思いました。大勢の生徒と保護者対応、時間外業務の多さなど、先生のお仕事は本当に大変なものだと私も理解しています。ただ、一方で、「できる限り、一人ひとりを見ていくようにします。」「お子さんは、ありのままで大丈夫ですよ。」そんな言葉を欲してしまう自分もいました。

児童発達支援管理責任者　長谷川育美